

News Release

2021年6月21日
チューリッヒ保険会社

2020年度(2021年3月期)の主要業績のお知らせ

チューリッヒ保険会社(日本における代表者および最高経営責任者:西浦 正親)より、2020年度(2020年4月1日~2021年3月31日)の主要業績をお知らせします。

業績の概要

当社は、チューリッヒ・インシュアランス・カンパニー・リミテッド(1872年にスイスで設立され、世界215以上の国と地域で事業展開するグローバルな保険会社)の日本支店として、グループの強固な財務基盤(S&P社格付AA/stable)を活用し、最重要拠点の一つとして、日本における業容拡大に取り組み、新商品や新サービス、新システムの開発に積極的に投資を行ってまいりました。

今年度においても、主力商品の傷害・医療保険および自動車保険については、共に元受保険料の増収を達成し、当年度の合計収入保険料は前年同期より8.2%増加し、2020年度目標の1,000億円を超え1,042億円となりました。また発生ベースのコンバインド・レシオは88.5%となりました。

長期的かつ安定的な収益確保を目指し、2019年度に傷害保険の出再スキームを抜本的に見直し最適化いたしました。これにより事業費率と損害率の改善を実現しております。また、新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響で自動車事故件数が減少したこと等により損害率が低下し、経常利益67億円、当期純利益76億円を計上いたしました。

上記の結果として、単体ソルベンシー・マージン比率は、2021年3月末現在で831.8%となりました。

主な指標は以下のとおりです。

(単位:百万円・%・ポイント)

	2020年3月期	2021年3月期	
			対前年同期 増減率
収入保険料	96,249	104,183	8.2
正味損害率	53.5	46.3	△7.2
正味事業費率	118.4	37.9	△80.5
経常利益(△は経常損失)	△31,722	6,719	-
当期純利益(△は当期純損失)	△30,799	7,607	-
	2020年3月期	2021年3月期	
単体ソルベンシー・マージン比率	558.9	831.8	272.9

用語説明や注記

収入保険料	元受保険料と受再保険料から各々解約返戻金、その他返戻金を控除した金額です
正味損害率	正味支払保険金に損害調査費を加えて正味収入保険料で除した割合です
正味事業費率	諸手数料及び集金費に保険引受に係る営業費及び一般管理費を加え、正味収入保険料で除した割合です
経常利益	経常収益から経常費用を差引いた金額です
当期純利益(純剰余)	当期純損益計算の最終結果である税引後当期純利益です
ソルベンシー・マージン比率	ソルベンシー・マージンの額の合計額をリスクの合計額で除した割合です
金額・比率の注記	金額は記載単位未満を切り捨てて表示し、増減率等の比率は小数点第2位を四捨五入し小数点第一位まで表示しております

[チューリッヒ・インシュアランス・グループ決算概要](#)

メディアからのお問い合わせ先:

チューリッヒ保険会社

広報部

電話: 03-6832-2160

Eメール: pr@zurich.co.jp